



2024年度

「認定事業場の品質管理向上のための人材養成」

事業報告書

2025年3月

一般社団法人 日本船舶品質管理協会

## 目 次

1. 事業目的 .....	1
2. 事業の内容（計画） .....	1
3. 事業の実施結果及び成果 .....	2
4. 委員会 .....	8
5. 成果物 .....	9

## 1. 事業目的

認定事業場（証明事業場を含む。）は、船用機器の製造、改造・修理、整備及び船用品の整備について、国が行う船舶安全法に基づく検査の一部を代行する任務を有している。従って、これら事業場は、経済環境の変動、技術革新の進展等に的確に対応しつつ、常に法定要件を満足する品質管理体制を維持する責務が課せられている。加えて、国際的な ISO9001 による品質マネジメントシステムの導入が国際競争力を確保する上で不可欠な状況となっており、国際化にも対応した品質管理体制を構築、維持することが求められている。

このため、本事業では、法の要件に加え、ISO9001 や最新の品質管理システム(TQM : 総合的品質管理)にも精通した人材の養成、確保を図り、技術者の世代交代にも対応できるように、船用機器の製造等工事管理者及び船用品の整備技術者の養成のための講習又は研修を実施する。これにより、認定事業場制度の円滑な運用に資するとともに、船舶の安全航行及び人命の安全に寄与する。

## 2. 事業の内容(計画)

船用機器の製造等認定事業場、膨脹式救命いかだ整備事業場及び GMDSS 救命設備整備事業場等の技術者に対する講習会・研修会を次により開催し、技術者の世代交代にも対応できるように人材を養成、確保する。

### (1) 船用機器製造工事管理者品質管理講習会・研修会

参加希望者 60 名を対象に、講習会を大阪で開催し、合格者に当会所定の資格を付与する。また、有資格者 90 名を対象に、研修会を大阪（2 回）及び伊東で開催する。

### (2) 船用機器修繕工事管理者品質管理講習会・研修会

有資格者 45 名を対象に、研修会を東京及び福岡で開催する。

### (3) 船用品整備技術講習会・研修会

#### ① 膨脹式救命いかだ整備技術研修会

膨脹式救命いかだ整備技術者 80 名を対象に、研修会を東京、広島及び下関で開催し、学科及び実技に関する研修を 2 日間実施する。

#### ② 降下式乗込装置整備技術講習会・研修会

降下式乗込装置整備事業場の技術者 10 名を対象に、講習会を東京で開催し、学科及び実技に関する講習を 4 日間、試験を 1 日間実施する。

また、降下式乗込装置整備技術者 30 名を対象に、研修会を広島で開催し、学科及び実技に関する研修を 2 日間実施する。

#### ③ 無線工学の基礎講習会

参加希望者 20 名を対象に、東京で学科に関する講習 3 日、試験 1 日の講習会

を実施する。

④ GMDSS 救命設備整備技術講習会・研修会

無線工学の基礎講習会の試験合格者を対象に、東京で学科に関する講習 4 日、試験 1 日の講習会を実施する。

また、GMDSS 救命設備整備技術者 90 名を対象に、研修会を東京及び大阪で開催し、学科及び実技に関する研修を 1 日間実施する。

### 3. 事業の実施結果及び成果

#### (1) 製造関係

① 船用機器製造工事管理者品質管理講習会

講習会には、各事業場から 59 名が受講し、講習 3 日及び筆記試験 1 日を実施した。試験の結果、48 名が合格した。合格者には「製造工事管理者」の資格が本会から付与され、今後、当該事業場の管理者(候補者)として品質管理の実務に従事することになった。

実施日	場 所	実 施 内 容
2024. 10. 1(火) ～ 2024. 10. 4(金)	新大阪丸ビル別館 (大阪市) (受講者 59 名)	講習内容 ①船舶の安全に関する法規と認定事業場の関係 ②認定事業場の組織と品質保証体系 ③認定事業場の品質保証活動 設計管理、製品の信頼性、生産管理、検査管理、 文書管理、教育訓練、内部監査等 試験 筆記試験



講義の様子



筆記試験の様子

船用機器製造工事管理者品質管理講習会

## ② 船用機器製造工事管理者品質管理研修会

対象となる船用機器製造工事管理者に対して受講を要請し、各事業場から73名（第1回26名、第2回17名、第3回30名）が受講した。研修会は3日間で、参加者全員が資格更新について適格であると評価され、製造工事管理者に相応しい品質管理技術の維持、向上を図ることができた。

実施日	場 所	実 施 内 容
2024. 9. 10(火) ～ 2024. 9. 12(木)	ホテルフクラシア 大阪ベイ (大阪市) (受講者26名)	研修内容 ① 講義 ・最新の船舶自動化技術とその課題及び船用環境対応 ・新技術、DX と品質管理 ・品質管理と安全管理 ② グループ討論 テーマ： ・現場が求める品質管理の課題とその為の人づくり ・品質管理における新技術活用 ・製造の代表的ヒューマンエラーと削減策について
2024. 10. 16(水) ～ 2024. 10. 18(金)	ルネッサ赤沢 (伊東市) (受講者17名)	
2024. 11. 5(火) ～ 2024. 11. 7(木)	ホテルフクラシア 大阪ベイ (大阪市) (受講者30名)	

## (2) 修繕関係

### ① 船用機器修繕工事管理者品質管理研修会

対象となる船用機器修繕工事管理者に対し、参加を要請して、福岡市及び東京都内の会場で開催した。その結果、各事業場から28名が参加した。研修会は2日間で、レポート審査の結果、参加者全員が資格更新について適格であると評価され、修繕工事管理者に相応しい品質管理技術の維持、向上を図ることができた。

実施日	場 所	実 施 内 容
2024. 10. 24(木) ～ 2024. 10. 25(金)	TKP カンファレンスシ ティ博多 (福岡市) (受講者16名)	研修内容 ①修繕に関する安全法規 ②修繕事業場における品質管理 品質管理のあり方、不適合事例研究 ③船用機関の環境規制対応について ④わざの伝承 ～発達の視点から～ ⑤技術交流会（グループ討議） テーマ：「修繕品質を高めるために」 ⑥レポート作成・提出
2024. 11. 28(木) ～ 2024. 11. 29(金)	KFC Hall & Rooms (東京都墨田区) (受講者12名)	



講義の様子



グループ討議の様子

### 舶用機器修繕工事管理者品質管理研修会（福岡会場）

#### （３）船用品整備関係

##### ① 膨脹式救命いかだ整備技術研修会

対象となる膨脹式救命いかだ整備技術者に対し受講を要請し、３地区（下関市、広島市、東京都）各事業場から７２名が参加した。

実技実習の結果は、整備規程に基づいてメーカー講師のチェックが行われ、良好であったとの評価を得た。このことにより、整備技量の維持、向上はもとより、我が国における膨脹式救命いかだ整備体制の維持、強化を図ることができた。

実施日	場 所	実 施 内 容
2024. 7. 25(木) ～ 2024. 7. 26(金)	海峡メッセ 下関アリーナ棟 (下関市) (受講者 31 名)	講義 点検、整備、積付け、整備上の留意点及びメーカーからの連絡事項等
2024. 8. 22(木) ～ 2024. 8. 23(金)	広島産業会館 (広島市) (受講者 26 名)	実技 教 材：'96SOLAS 適合 6 形式及び架台 技術内容：実ガス膨脹、折りたたみ、 格納及び積付け、接着修理
2024. 11. 14(木) ～ 2024. 11. 15(金)	東京海洋大学 越中島キャンパス (東京都) (受講者 15 名)	質疑応答、メーカーからの連絡事項、品管からの連絡事項等



下関会場の様子



広島会場の様子

### 膨脹式救命いかだ整備技術研修会

#### ② 降下式乗込装置整備技術講習会

船用品整備事業場を対象に参加者を募り、7名が受講した。

講習会は、藤倉コンポジット(株)製の2型式及びRFD ジャパン(株)製の1型式の降下式乗込装置について実技講習及び試験が2又は3日間で、学科講習及び試験を2日間実施した。結果、受講者6名が合格した。合格者には、「降下式乗込装置整備技術者」の資格が、本会から付与された。

今後、所属事業場の整備技術者として整備の実務に従事することになった。

実施日	場 所	実 施 内 容
2024. 7. 16(火) ～ 2024. 7. 18(木)	藤倉コンポジット(株) (埼玉県岩槻市) スパイラル式 (受講者 1 名)	実技講習 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 降下式乗込装置の構造等の講義</li> <li>・ 収納・格納等一連の実技訓練を実施</li> <li>・ MES (船上退船システム) に関するラフト案内索等の点検・整備要領の講義</li> </ul> 実技教材 ('96SOLAS 対応) : 実技試験 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 降下式乗込装置の収納・格納等一連の実技</li> </ul>
2024. 7. 30(火) ～ 2024. 8. 1(木)	藤倉コンポジット(株) (埼玉県岩槻市) ジグザグ式 (受講者 5 名)	
2024. 8. 8(木) ～ 2024. 8. 9(金)	RFD ジャパン(株) (横浜市) RFD スパイラル式 (受講者 1 名)	
2024. 10. 24(木) ～ 2024. 10. 25(金)	日本船舶品質管理協会 会議室 (東京都中央区) (受講者 7 名)	学科講習 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 船舶安全法及び関係法令</li> <li>・ 降下式乗込装置の構造、材料、点検整備関係</li> <li>・ MES (海上退船システム) の講義</li> </ul> 学科試験

### ③ 降下式乗込装置整備技術研修会

対象となる降下式乗込装置整備技術者に対し  
受講を要請し、各事業場から27名が参加した。

メーカー2社の海上退船システム(MES)と  
位置付けられる3型式の'96SOLAS 適合降下式  
乗込装置を教材にして、2日間にわたり船上及  
び整備事業場内における点検、整備に関する指  
導を行った。'96SOLAS に適合する降下式乗込  
装置は海上退船システム(MES)の中核的な役  
割を担うことから、整備に関する講師からの実

技指導に対し、質疑・応答も活発に行われ、整備技術者の技量の維持・向上はもと  
より、我が国における降下式乗込装置整備体制の維持、強化を図ることができた。



実技実習の様子

実施日	場 所	実 施 内 容
2024. 8. 20(火) ～ 2024. 8. 21(水)	広島県立 広島産業会館 (広島市) (受講者27名)	講義 船上で行う点検と注意事項 S.Sで行う点検と注意事項 格納・積付けと注意事項 MESの講義 実技 教材：'96SOLAS 適合品 (スパイラル式2型式、ジグザグ式1型式) 技術内容：折りたたみ、格納及び積み付け 質疑応答、メーカー、品管からの連絡事項

### ④ 無線工学の基礎講習

全ての船用品整備事業場を対象に参加者を募り、各事業場から32名が受講し  
た。基礎講習会は4日間で、講習及び試験を実施した。17名が合格し、GMDSS 救  
命設備整備技術講習会の参加資格を得た。

実施日	場 所	実 施 内 容
2024. 10. 8(火) ～ 2024. 10. 11(金)	東京海洋大学 越中島キャンパス (東京都江東区) (受講者32名)	講義 電気・磁気・電波工学の基礎 情報通信工学の基礎 電子回路の基礎 電気・電子・高周波計測の基礎 レーダーの基礎 基礎試験 (合格者18名)

⑤ GMDSS 救命設備整備技術講習会

無線工学の基礎講習試験合格者を対象に、学科及び実習に関する講習 4 日、試験 1 日の講習会を計画し、各事業場から 18 名が参加した。試験の結果、EPIRB については 16 名、SART については 18 名、また、双方向無線電話については 17 名が合格し、整備技術者の資格を取得した。今後、当該事業場の整備技術者として就業することとなる。

実施日	場 所	実 施 内 容
2025. 2. 3(月) ～ 2025. 2. 7(金)	東京海洋大学 越中島キャンパス (東京都江東区) (受講者 18 名)	講義 船舶安全法及び電波法並びに同関係法令 GMDSS の概要 EPIRB の基礎と機器概要 SART の基礎と機器概要 双方向無線電話の基礎と機器概要 点検整備要領 整備施設及び測定器具の管理 実技 EPIRB、SART、双方向無線電話装置の整備 技量認定試験

⑥ GMDSS 救命設備整備技術研修会

対象となる GMDSS 救命設備整備技術者に対し受講を要請し、各事業所から 57 名が参加し、東京都と大阪府で研修会を実施した。研修受講者に対しては、整備にあたっての留意点、電波の誤発射防止に係る船舶乗組員に対する啓発事項並びに関連法規を周知するとともに、実機による指導を実施して整備技量の維持、向上を図ることができた。

実施日	場 所	実 施 内 容
2024. 11. 6(水)	東京海洋大学 越中島キャンパス (東京都江東区) (受講者 22 名)	講義 GMDSS 及び海上通信関連の最新動向 機器整備上の留意事項 整備記録作成上の注意事項 実技 整備要領及び整備時の注意事項
2024. 12. 5(木)	新大阪丸ビル別館 (大阪市) (受講者 34 名)	



学科講習の様子



実技講習の様子

### GMDSS 救命設備整備技術研修会

## 4. 委員会

事業の実施にあたり、学識経験者、その他関係者からなる委員会を設けた。

### (1) 船用機器製造工事管理者品質管理講習・研修委員会

2024年度事業計画に基づき、事業遂行にあたり委員会を3回開催し、指導書の改訂、試験の方法、講習会・研修会の実施方法、講習会・研修会の結果等について審議、検討し、所期の成果を挙げた。

この間、試験小委員会を3回開催し、試験問題の作成、試験の実施方法、試験結果の評価等を審議、検討した。

### (2) 船用機器修繕講習委員会

2024年度事業計画に基づき、事業遂行にあたり委員会を3回開催し、研修会の実施方法、指導教材の確認及び研修会の実施結果等について審議、検討し、所期の成果を挙げた。

この間、試験小委員会を3回開催し、レポート課題、試験問題の作成、実施方法及び試験結果の評価等を審議、検討した。

### (3) 船用品整備技術講習委員会

2024年度事業計画に基づき、事業遂行にあたり委員会を2回開催し、講習会等の実施方法、実施結果等について審議、検討し、所期の成果を挙げた。

この間、いかだ・降下式乗込装置合同小委員会3回、GMDSS小委員会3回開催し、それぞれ講習会、研修会の実施方法、実施結果等を審議、検討した。また、整備試験小委員会（降下式乗込装置）3回及び整備試験小委員会（GMDSS）5回開催し、試験問題の作成、試験の実施方法、試験結果の評価等を審議、検討した。

## 5. 成果物

講習会等の実施手段として次の図書を作成した。

- (1) 品質管理指導書
  - 第1分冊 品質管理編
  - 第2分冊 法令編
- (2) 船用機器製造工事管理者研修会テキスト
  - ①「最新の船舶自動化技術とその課題及び船用環境対応」
  - ②「品質管理と安全管理について」
  - ③「新技術、DX と品質管理」
- (3) グループ討論のまとめ
- (4) 船用機器修繕工事管理者指導書（第1、第2、第3分冊）
- (5) 降下式乗込装置整備技術指導書
- (6) 無線工学の基礎テキスト
- (7) GMDSS 救命設備整備技術指導書（第1部、第2部）